

諏訪百名山に登る会による大見山登山道案内標識等の設置事業 展望台周辺整備事業及び中高年による記念登山事業

取組に至る背景・事業の目的

- 近年の登山ブームにより、中高年者や若い女性が山に登り、自然を楽しむ機会が増えている。
- 大見山は、比較的軽装で5～6時間で往復できる山として、山頂には諏訪湖を一望できる展望台も整備されているが、周りの雑木林が成長し過ぎて何も見えなくなっている。また、登山道には案内看板もなく、初めて訪れる登山客に不親切である。
- 登山道及び展望台周辺の整備、支障木伐採を行うことで、登山客を増やし健康づくりと観光資源として活用することで地域の活性化を図る。

事業内容

- 登山道を整備し標識設置、展望台の周辺の樹木を伐採を行い、展望を良くして昔の眺望を復活させる。
- 登山マップを作成し各方面に宣伝する。
- 完成後、記念登山を計画して市民の皆さんをご案内する。各種イベントに参加し、大見山を貴重な観光資源とPRし活用していく。



【登山道への案内板設置】

事業効果

- 展望台からの眺望が確保され、記念登山には多くの参加者があった。
- 「諏訪地区森林づくりの集い」や「市公民館主催蓼の海自然教室(秋)」などで大見山が活用され、講師として招待され事業をPRできた。
- JR東日本の「駅からハイキング」のコースとして旅行商品化された。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

- 展望台復活のため樹木の伐採について、所有者の方の同意をいただくのに苦勞した。
- 登山道への標識設置については、本数も多く材料の運搬に苦勞した。

～東屋に置いたノートから登山者の声～

- ・ すばらしいハイキングコースありがとう。
- ・ 展望台があることを知らなかった。展望最高！
- ・ 駅からハイキングで127名のお客様参加。地域とJRと連携して頑張りたいと思います。
また、秋来たいとのこと（JR上諏訪駅）



【完成記念登山】

【選定のポイント】

山頂からの良好な眺望を確保でき案内表示も整備されたことで、良好な観光資源として活用が期待ができる。

団体名	諏訪百名山に登る会（諏訪市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	大見山担当 河西 邦彦	事業費	981,200円
	電話 090-2326-5662	支援金額	799,000円